

# 内郷地区

143

---

I 地形・歴史	1 地形等	145
	2 歴史	145

146

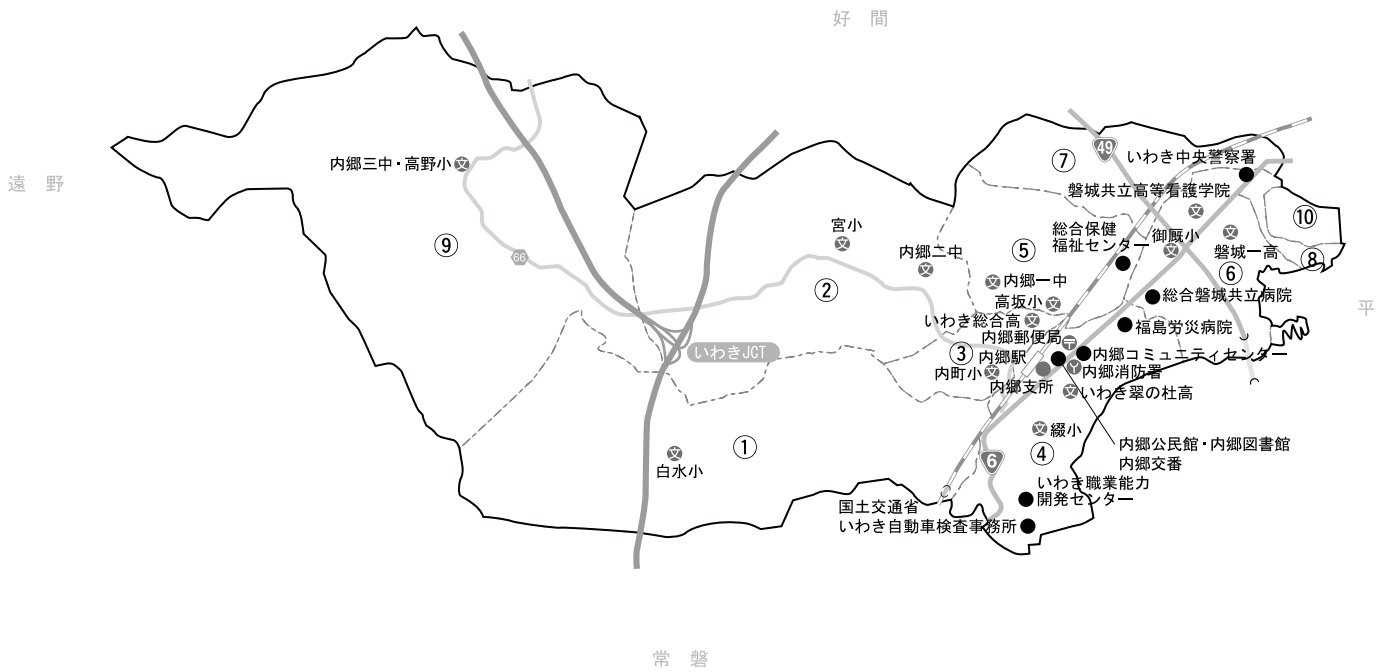
---

II 統計	1 人口・世帯数	146	
	人口・産業等	2 町名別人口・世帯数	147
		3 年齢別人口	147
		4 労働力人口	148
		5 産業別人口	148
		6 農業	149
		7 工業	150
		8 商業	151
その他	1 幼稚園	152	
	2 保育所(保育園)	152	
	3 学校	153	
	4 公民館・集会所	154	
	5 警察・消防	154	
	6 福祉施設等	155	
	7 土地利用・地価	156	
	8 交通	157	
	9 地域づくり団体	157	
	10 地域資源	158	

---

159

# 内郷地区の主な公共施設



番号	町名
①	内郷白水町
②	内郷宮町
③	内郷内町
④	内郷綴町
⑤	内郷高坂町

番号	町名
⑥	内郷御厩町
⑦	内郷御台境町
⑧	内郷小島町
⑨	内郷高野町
⑩	小島町

# I 地形・歴史 Topography & History

## 1 地形等

市のほぼ中央部に位置し、中小河川の白水川や宮川が貫流するが平坦部は少なく、丘陵地が大部分を占める。

当地区は、炭鉱によって発展したところであるが、現在は「病院のまち」ともいわれ、国道 6 号沿線には磐城共立病院、その隣には福島労災病院があり、福島県浜通り地方の総合医療の中心的役割を担い、市内外からの患者も多い。

## 2 歴史

平安時代の末期には、末法思想が流行。来るべき暗黒の世の光明を求めて、無量光仏と称された阿弥陀如来信仰が盛んになった。白水阿弥陀堂も、このような時代背景のもと、浄土式庭園をもつものとして造営された。

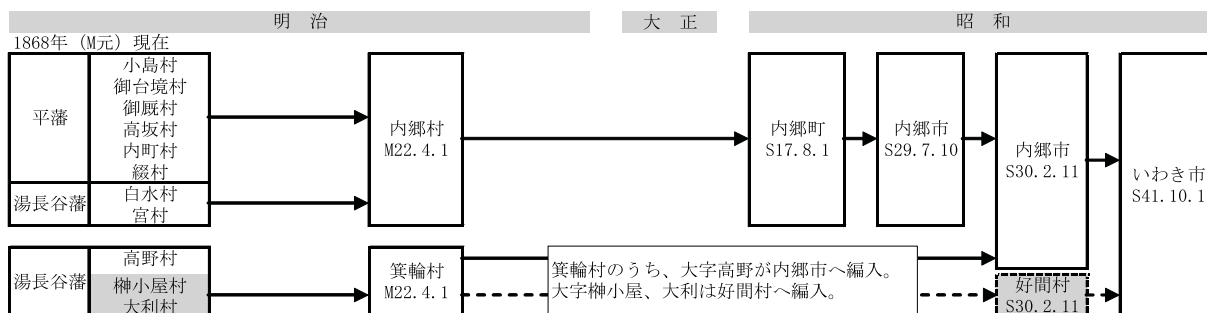
文明 15 年(1484)岩城氏が御台境と好間の境に飯野平(大館)城を築城、以来 195 年間戦国大名岩城氏が除封改易されるまでの居城となった。江戸時代、内町・綴・高坂・御厩・御台境・小島は磐城平藩の所領に属し、白水・宮・高野は湯長谷藩の所領に属した。

安政 2 年(1855)片寄平蔵が石炭を発見、2 年後の安政 4 年に弥勒沢等で開鉱して以来常磐炭田の端緒となる。明治時代に磐城炭礦(株)、入山採炭(株)が相次いで設立され炭鉱のまちとして栄えた。両社は、昭和 19 年に合併し常磐炭礦(株)が設立され、昭和 30 年代まで操業を続けた。

昭和 25 年総合磐城共立病院、昭和 31 年福島労災病院創設により、保健衛生都市としての性格を強める。また、昭和 38 年金谷・高坂団地の造成に着手、平のベットタウンとしての政策が遂行される。平成 15 年には、内郷貨物操車場跡地に総合保健福祉センターがオープンした。

(参考文献:「いわき市史」、「新しいいわきの歴史」)

### ※行政区域の変遷



### 【昭和 40 年(1965 年)当時の内郷市民の暮らし】

テレビ	1.3 世帯に 1 台	電話	175 世帯に 1 台
ラジオ	1.4 世帯に 1 台	電灯	1 世帯に 6 灯
ガス	2.3 世帯に 1 台	自動車	25 人に 1 台
婚姻	5 日に 4 組	離婚	7 日に 1 組
死亡	1 日あたり 0.6 人	出生	1 日あたり 1.2 人

※昭和 40 年 10 月 1 日現在 世帯数 8,723 世帯、人口 35,242 人

「内郷市勢要覧(1966 年版)」より